



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月6日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東  
 コード番号 3687 URL http://www.fixstars.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 堀美奈子 TEL 03-6420-0751  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	2,081	18.1	396	3.5	397	0.8	270	0.3
27年9月期第2四半期	1,761	22.7	383	43.2	394	51.1	269	67.1

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 264百万円 (△4.0%) 27年9月期第2四半期 275百万円 (70.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	40.76	40.00
27年9月期第2四半期	41.47	39.81

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	2,373	1,915	80.5	284.59
27年9月期	2,542	1,842	72.4	278.12

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 1,910百万円 27年9月期 1,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,031	12.5	630	2.5	625	0.0	447	0.1	67.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社アイ・イー・テックを第1四半期連結会計期間において新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期2Q	6,712,000株	27年9月期	6,624,000株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	－株	27年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期2Q	6,638,027株	27年9月期2Q	6,507,953株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、このところ弱さもみられるものの、所得や雇用環境の改善傾向が続くなか緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、中国をはじめとするアジア新興国経済の先行きや金融資本市場の変動等については留意する必要があるものの、引き続き緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えて、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動車分野で注目されている車載向け先進運転支援システム(ADAS: Advanced Driving Assistant System)関連の案件、医療機器やファクトリーオートメーション向けの組込みソフトウェア案件及び金融分野やビッグデータ分野を対象とした高速シミュレーションシステム案件等を中心に継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が継続しております。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き受注しております。次期重点戦略事業と位置づけている大容量高速ストレージ事業においては、さらなる製品ラインナップの拡充及び販売の拡大に取り組んでおります。また、顧客ニーズに合わせたカスタマイズ品の製品開発案件や、ソフトウェア・サービスと組み合わせ、最適なハードウェアを提供するトータルソリューション型案件に注力しております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、北米地域における大容量高速ストレージの販売拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、2,081,442千円(前年同期比18.1%増)、営業利益396,768千円(前年同期比3.5%増)、経常利益397,546千円(前年同期比0.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益270,578千円(前年同期比0.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

## (ソフトウェア・サービス)

ヘルスケア、産業機器及び車載分野では、医療機器、製品製造検査装置及び車載向け先進運転支援システムに対して、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理を実現するソリューションを提供しております。モバイル分野においては、半導体メーカー向けのメモリコントロールのためのファームウェアやデバイスドライバの開発を中心に、サービスを提供しております。金融及びビッグデータ分野では、大手銀行や証券会社のリスク管理、スーパーコンピュータの性能評価等、シミュレーション高速処理のためのソリューションを中心にサービスを提供しております。

この結果、売上高は、1,542,980千円(前年同期比13.7%増)、セグメント利益(営業利益)は、368,065千円(前年同期比4.6%増)となりました。

## (ハードウェア基盤)

画像処理プロセッサ搭載の演算ボード等の量産納入が長期継続中であり、また、大容量高速ストレージの更なる大容量化、カスタマイズ品の製品開発案件及びソフトウェア・サービスと組み合わせたトータルソリューション型案件に注力いたしました。

この結果、売上高は、538,461千円(前年同期比33.1%増)、セグメント利益(営業利益)は、28,702千円(前年同期比8.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて168,547千円減少し、2,373,975千円となりました。これは、商品及び製品が93,404千円、仕掛品が56,425千円増加した一方で、現金及び預金が145,728千円、売掛金が62,920千円、原材料が94,468千円減少したこと等が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて241,515千円減少し、458,735千円となりました。これは、短期借入金が20,000千円増加した一方で、買掛金が131,514千円、未払法人税等が4,649千円、賞与引当金が10,602千円、社債が10,000千円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて72,968千円増加し、1,915,239千円となりました。これは、資本金が17,250千円、資本剰余金が17,250千円、利益剰余金が40,898千円増加した一方で、為替換算調整勘定が9,033千円減少したこと等が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ145,728千円減少し、985,331千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は51,053千円(前年同期比186.2%増)となりました。これは主に、たな卸資産の増加(55,361千円)、仕入債務の減少(131,514千円)、未払金の減少(69,397千円)及び法人税等の支払(127,829千円)があった一方で、税金等調整前四半期純利益(397,581千円)及び売上債権の減少(61,802千円)があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は△9,249千円(前年同期比79.8%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(7,306千円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は△180,847千円(前年同期比294.6%増)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出(178,200千円)、配当金の支払(131,547千円)があった一方で、短期借入れによる収入(20,000千円)、株式の発行による収入(34,500千円)、自己株式の処分による収入(81,000千円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、平成27年11月12日付の「平成27年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社アイ・イー・テックを第1四半期連結会計期間において新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,131,060	985,331
売掛金	904,237	841,316
商品及び製品	118,149	211,554
仕掛品	9,105	65,531
原材料	111,239	16,770
繰延税金資産	50,641	43,705
その他	16,900	11,708
流動資産合計	2,341,334	2,175,918
固定資産		
有形固定資産	29,169	28,989
無形固定資産		
その他	25,001	21,135
無形固定資産合計	25,001	21,135
投資その他の資産		
投資有価証券	45,754	48,054
繰延税金資産	1,701	2,184
その他	99,561	97,692
投資その他の資産合計	147,017	147,931
固定資産合計	201,188	198,056
資産合計	2,542,522	2,373,975
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	262,555	131,040
短期借入金	—	20,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	133,265	128,615
賞与引当金	57,606	47,004
その他	216,824	112,075
流動負債合計	690,251	458,735
固定負債		
社債	10,000	—
固定負債合計	10,000	—
負債合計	700,251	458,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	532,718	549,968
資本剰余金	438,718	455,968
利益剰余金	866,820	907,718
株主資本合計	1,838,256	1,913,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,260	8,284
為替換算調整勘定	△2,736	△11,769
その他の包括利益累計額合計	3,524	△3,484
新株予約権	490	455
非支配株主持分	—	4,613
純資産合計	1,842,271	1,915,239
負債純資産合計	2,542,522	2,373,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,761,889	2,081,442
売上原価	1,035,089	1,317,593
売上総利益	726,800	763,848
販売費及び一般管理費	343,599	367,080
営業利益	383,201	396,768
営業外収益		
受取利息	71	76
受取配当金	—	459
為替差益	2,322	1,621
助成金収入	10,000	—
その他	258	517
営業外収益合計	12,652	2,674
営業外費用		
支払利息	962	1,383
その他	386	512
営業外費用合計	1,349	1,896
経常利益	394,504	397,546
特別利益		
新株予約権戻入益	—	35
特別利益合計	—	35
税金等調整前四半期純利益	394,504	397,581
法人税、住民税及び事業税	128,524	120,010
法人税等調整額	△3,902	5,779
法人税等合計	124,622	125,789
四半期純利益	269,881	271,792
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1,213
親会社株主に帰属する四半期純利益	269,881	270,578

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	269,881	271,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,845	2,023
為替換算調整勘定	2,002	△9,033
その他の包括利益合計	5,848	△7,009
四半期包括利益	275,730	264,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,730	263,569
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,213

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	394,504	397,581
減価償却費	12,991	11,650
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,817	△10,602
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△63,000	—
受取利息及び受取配当金	△71	△535
支払利息	962	1,383
為替差損益(△は益)	△2,646	△526
売上債権の増減額(△は増加)	△79,853	61,802
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108,143	△55,361
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,448	△131,514
未払金の増減額(△は減少)	626	△69,397
その他	△3,508	△24,748
小計	136,229	179,730
利息及び配当金の受取額	71	535
利息の支払額	△962	△1,383
法人税等の支払額	△115,471	△127,829
移転費用の支払額	△2,026	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>17,841</b>	<b>51,053</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,395	△7,306
無形固定資産の取得による支出	△5,147	△1,942
投資有価証券の取得による支出	△36,341	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△45,885</b>	<b>△9,249</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	20,000
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
株式の発行による収入	50,250	34,500
非支配株主からの払込みによる収入	—	3,400
自己株式の取得による支出	—	△178,200
自己株式の処分による収入	—	81,000
新株予約権の発行による収入	490	—
配当金の支払額	△76,567	△131,547
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△45,827</b>	<b>△180,847</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,161	△6,685
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△71,710	△145,728
現金及び現金同等物の期首残高	946,097	1,131,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	874,387	985,331

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	1,357,289	404,600	1,761,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,357,289	404,600	1,761,889
セグメント利益	351,828	31,372	383,201

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	1,542,980	538,461	2,081,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,542,980	538,461	2,081,442
セグメント利益	368,065	28,702	396,768

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。